

チームワークとコミュニケーション

日時／平成28年4月4日(月)～7日(木) 10:00～16:30 講師／4日(月)・5日(火) アルト・キャリア開発 森 眞江さん
6日(水)・7日(木) (株)アイミック 梶浦 真紀さん 租税教育講師／5日(火)・7日(木) 名古屋中税務署 筆頭税務広報広聴官 加藤 隆雄氏



講師 森 眞江さん(4日) 講師 梶浦 真紀さん(7日) 講師 加藤 隆雄氏(7日)



研修生



二人一組のテスト

学生から社会人へ

社会で働くとは、「仕事を通じて社会に貢献する」ことを意味する。

4日の講師の森眞江さんは、社会人としての「身だしなみ・言葉遣い」の基本から、企業が求める理想の社員のありかたをきめ細かに解説した。

笑顔は相手に安心感を与える大人のマナー。

時間を守る。メモをとる。協力する。新聞を読む。

研修では、組織の一員であることを意識させ、実例を挙げ、コミュニケーションの大切さを体験させた。

毎朝欠かさず新聞の一面と見出しに目を通すこと。なかでも朝日新聞の朝刊コラム「天声人語」や中日新聞「中日春秋」などは、「社会人としての時節の捉え方・言葉遣い・文章の表現力を養う上で、社説より有効に活かさない」と説いた。

研修生に1から70の数字がプリントされたA4用紙が配布され、2分間で順にチェックするテストでは60まで進んだのは一人だけ。その人は一見ランダムに見えるが、奇数偶数が上下にあり、次の数字も対角線上に配置してあることに気づいた。その説明を受けて二人一組のテストでは全員が70まで到達した。

「結果も重要ですが、一緒に楽しく笑顔でやるのが大切で、それが今後の大きな成果につながっていきます」。講師の言葉に全員が納得していた。

吸収モードと達成感

厳しい経済情勢と国際社会は混沌としているが、研修生たちの未来が確かなものになって欲しい。

7日は、講師の梶浦真紀さんと昼食後の研修生に研修の感想を訊ねた。

「短期間で研修を終えますので、出来る限りコミュニケーションを取るようになっています。皆さん真剣ですので顔がこわばっています。なるべく話をして、講義が進むにつれて互いの距離を縮めて行くようになっています。

コミュニケーションが密に深まれば、吸収モードが高まります。楽しみながらすると達成感が格段に違ってきます。それを持ち帰っていただきたいと願っています」

最前列の男性は、「敬語や言葉遣いの難しさ、来客対応で学んだことを活かしたいと思います」

公務員のコンサルタント関係の女性は、「大学でもそれなりに学んできましたが、例えば社会人としての『ほう(報告)れん(連絡)そう(相談)』は、上司の方や取引先まで影響することを改めて実感しました。それに電話対応は個人とのやり取りでしたが、それがバックに会社全部を背負っているという対応になる責任の重さが理解できましたので、有り難く感じています」と話してくれた。

租税教育は、5日・7日午後の研修を前に税務広報広聴官の加藤隆雄氏を講師に招き、初めて手にする給与明細書の見方と所得税などのポイントを学び、源泉徴収や年末調整のしくみなどについて研修が行われた。

講演会・新入会員オリエンテーション

国税組織における人材育成 私のキャリアから見た理想の調査マン

日時／平成28年2月24日(水) 18:30～ 講演／18:30～19:30 新入会員オリエンテーション／19:40～
会場／名古屋クレストンホテル 講師／名古屋中税務署長 辰巳 安治氏



名古屋クレストンホテル



守秘義務・調査の
ポイントを質問する
司会の阿部 優貴子さん



講師 辰巳 安治氏

仕事は楽しくやる

昨年、本誌秋号（署長インタビュー）で語った、職員への要望の項目の一つが「仕事は楽しくやろう」。そして自分自身への言葉として熱く述べられた記憶が鮮明に蘇った講演会であった。

名古屋中税務署長の辰巳安治氏は、小学校では卓球（名古屋市10万人卓球大会団体3位）、中学は剣道、夏休みは母方の実家の琵琶湖のほとりで、朝から晩まで遊び回った少年時代を過ごした。

海釣り・登山・ゴルフ・将棋（4段）、スキューバダイビング。好奇心とやり遂げる姿勢は今も変わらず、そして40年間の税務署で指導した職員は実に数千人に及ぶ。

青年部会主催の署長講演会は、国税庁全体の組織と業務に触れ、広域な名古屋中税務署の特色が紹介された。

なかでも、「採用から3年目には“理想の調査マン、として独り立ちさせる」と題した内容は、外からでは知ることのできない人材育成に感銘を受けた。

日々のコミュニケーションは、人間力・モラル・精神面を向上させ、組織を堅固にする不可欠な要素である。

“あいさつ・会話、からその日の職員の健康状態を把握する。「人材育成のプロフェッショナルは、一人ひとりの仕事ぶりからプライベートまで、全ての情報を知らなければならぬ。そして大切なことは、仕事は楽しくやることです」と語る講師の真剣な姿に圧倒された。

国税組織における人材育成のポイント

使命感と誇りを胸に、国の財政を支える税のスペシャリストを育てる

採用は国税専門官（大学卒）と税務職員（高校卒）に分かれるが、女性職員の比率は19%で増加傾向となっている。

公務員試験で合格した学生は、県庁と市役所を希望する人が多く、面接を終えた後に他の省庁に手放さなければならぬ悔しさがあるそうだ。

面接では出身大学や親の職業を質問することがタブーとなっている。

採用のポイントは、税務職員は体育会系の仕事が多いことから「元気で、声が大きく、誠実な人」の三つの条件に合う人が選ばれる。



開会あいさつ
岩野 司氏



「日々のコミュニケーションの
大切さを改めて実感した」と
謝辞の杉本 高男氏

栄ミナミ音楽祭 10周年 栄ミナミ音楽祭'16・パートナーズライブ in つたも

日時/栄ミナミ音楽祭'16 平成28年5月7日(土)・8日(日) 11:00~18:00 パートナーズライブ in つたも 平成28年5月8日(日) 12:00~14:30
会場/矢場公園・ナディアパーク 他 出演/翫間・櫻川直太郎氏 俳優・竹元真一郎氏 後援・主催/名古屋中法人会 名城支部・栄東支部



俳優・竹元 真一郎氏



主催者あいさつ
栄東支部支部長
辻本 昌孝氏



翫間・櫻川 直太郎氏

ますますつながる、拡がる！ 「栄ミナミ、大須、久屋、そして名駅」

平成19年、街と人がLIVEする=栄ミナミ音楽祭は、12会場・70組のアーティストでスタートした。

今年で第10回を迎え、今ではナゴヤ音楽祭とも称される一大イベント。全国から集まったファンが名駅会場も加わった42会場で、約420組のアーティストのライブを楽しんでいた。

音楽ライブ以外にも「フェアトレード・タウン名古屋、介助犬、AED、ピンクリボン、クリーンキャンペーン」など様々な社会貢献活動も行われていた。

五月晴れのメインステージでは、3月のライブオーディション（約500組）を勝ち抜いた福岡県出身の双子のデュオ「健太康太」と、岐阜県出身の鍵盤弾き語りシンガーソングライター「袈裟丸裕介」が感謝を込めて自慢の歌声を披露し、なかでも袈裟丸裕介くんのステージは、飛騨川の清流と瑞々しさをイメージさせ、若者たちの拍手が止まなかった。

お座敷芸「翫間」と芝居「一本刀土俵入り」

当法人会の栄東支部は、社会貢献プラスワン事業として新進の地元アーティストのサポートと芸所名古屋の伝統芸能の魅力などを取り上げ『栄ミナミ音楽祭パートナーズライブinつたも』を開催している。

創業百年の料亭蔦茂では、名古屋唯一の「たいこもち」として話題の翫間・櫻川直太郎氏による「お・も・て・な・し」と、ことばの会「えくせるしあ」主宰（元劇団前進座俳優）の竹元真一郎氏のひとり語り「一本刀土俵入り」が演じられた。



矢場公園 栄ミナミ音楽祭メインステージ



ナディアパーク



大津通り付近のライブ

みんなに笑顔を クラウンがやってきた!

日時/平成28年3月17日(木) 10:00~
会場/前津福祉会館 大池保育園



主催者あいさつ 高橋 公比古氏

出演者/なっつ・カノン・レオ
対象者/110名(0~5歳児)・スタッフ20名・一般10名(父母)
配布資料/140部(エコバック・ノート・鉛筆・ポケットティッシュ・ファイル・あいさつ運動シール100枚)



大池保育園の園児たち

尾張伝統芸能ナイト2016

知れば知るほどおもしろい! 中法人会と伝統芸能

日時/平成28年2月15日(月) 18:00~ 会場/大須演芸場



「新たなチャレンジ やっちゃえ法人会」を合言葉に、大須演芸場を貸し切り、演芸場の人気芸人と一緒に経営研究会と青年部会の有志たちが「尾張伝統芸能ナイト」を開催した。

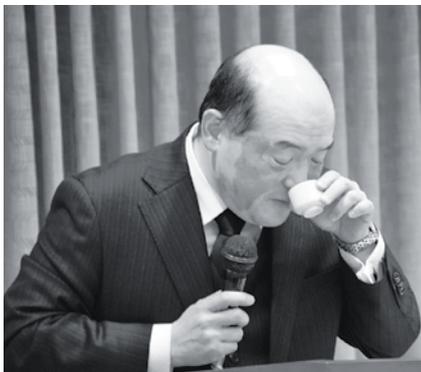
企画早々に予約が殺到し、満員札止め、キャンセル待ちや当日まで問い合わせが続き、客席数約179席のところ立ち見ができるほどの大盛況となった。

舞台では、前座漫才、漫談古池麟林、漫才佐々木&茂山2号(経営研究会)、江戸曲独楽柳屋三亀司、コント司&茂山4号(青年部会)、幫間櫻川直太郎、日本舞踊名妓連、西川流和のフィットネスNOSS入門など、尾張の伝統芸能が演じられた。

漫才・コントや出演者による座談会では、一般の参加者の皆様に、バラエティーある法人会の活動と日頃の税務活動を交えて、楽しくPRすることができた。

清酒の教養セミナー

日時／平成28年3月16日(水) 18：30～ 会場／東京第一ホテル錦 講師／名古屋国税局 鑑定官室長 小野 玄記氏
 第一部：講義「お酒のはなし」 第二部：実践「きき酒」 情報交換会



講師 小野 玄記氏



配布資料一部



支部長あいさつ 服部 信一郎氏



謝辞 水谷 鎮夫氏



東京第一ホテル錦3Fプリランテの間

清酒は日本の伝統的なお酒

講師は、昭和62年（1987）国税庁に入庁以来、酒税に関する事務、特に酒造技術の研究・開発の品質・安全性を確保する業務に携わってきた

酒類総研（独立行政法人酒類総合研究所）は、日本唯一の酒類総合研究機関で広島にある。

講演では、日本酒の歴史と酒税に始まり、お酒の作り方・味覚・美味しさの秘密など専門的な知識を交えて行われた。

日本酒のラベルには、アルコール分・原材料名（水は書かないことになっている）・原料米の品質・産地名・製造者の名称及び製造地・酒の特徴を示す語句（原酒、生酒、生貯蔵酒、生一本、樽酒）など、さまざまな情報が書いてある。

きき酒と利き当て

第二部の実践「きき酒」では、上手なやり方を手ほどきされても、なかには喉越ししてしまった参加者もいた。

情報交換会では、セルフ方式の粉酒コーナーと、「利き当て」が行われた。酒の種類を当てるのは素人ではとて

も難しい。そして、特別に出された広島の研究員が醸造した「研究所のお酒」と「風薫る鏡山」は、希少価値のあるお酒とあって、セミナーを受講した人が全員情報交換会まで参加した。

「酒は天下の美禄なり 少し飲めば陽気を助け、血気を和らげ食をめぐらし、憂いを去り、興を起こして甚だ人に益あり 多く飲めば、またよく人を害するもの酒に過ぎたるものなし」－『養生訓』（江戸時代の本草学者・儒学者の貝原益軒）

貝原益軒の名言には、「知っていてもそれを行動に移さないのであれば、知らない者となんらかわりは無い」もある。情報交換会は和やかな雰囲気の中、珍しい「研究所のお酒」を賞味しながら、5月に開催する伊勢志摩サミットと志摩観光ホテルが用意する日本酒の話題で盛り上がり、親睦を温める楽しい場となった。

《注文殺到・プレミアの付いた「伊勢志摩サミットのお酒」》

- | | | |
|-----|-------|-------------------|
| 乾杯酒 | 三重県伊賀 | 大田酒造「半蔵」 |
| | 三重県鈴鹿 | 清水清三郎商店「作」 |
| 食中酒 | 三重県大台 | 元坂酒造 |
| | | 「酒屋八兵衛 山廃純米酒 伊勢錦」 |
| | 三重県名張 | 瀧自慢酒造「辛口 滝水流純米酒」 |

みんなで成功させよう！ 会員増強運動

青年部会 第36年度総会

名古屋中PRIDE 英知・勇気・情熱

日時／平成28年4月20日(水) 18:00～ 会場／名古屋クレストンホテル会議室

《PRIDE 6》

税のオピニオンリーダー
企業の発展を目指す
地域の発展に貢献
名古屋中法人会会員
愛知県単位法人会のリーダー
全国単位法人会のリーダー



部会長 岩野 司氏

新部会長 杉本 高男氏



第36年度部会長（左）第35年度部会長（右）



最優秀委員会 総務委員会



優秀委員会 第一委員会



優秀委員会 税務委員会



優秀会員 長谷川 麻衣子さん



みんなで成功させよう！ 会員増強運動

女性部会 第33回通常総会

広めよう！ `女性の発想、

日時／平成28年4月21日(木) 14：30～ 記念コンサート講師／名古屋フィルハーモニー交響楽団クラリネット奏者、名古屋音楽大学非常勤講師 井上 京氏^{たかし}
会場／名古屋東急ホテル 記念コンサート奏者／チェロ 岩田 彩子さん、ピアノ 山本 敦子さん



加藤 あつこ部会長



来賓
辰巳 安治署長



来賓
丹羽 幸彦親会副会長

記念コンサート
「チェロ・クラリネット・ピアノでつづる春の調べ」



名古屋東急ホテル

女性部会社会貢献事業

日時／平成28年3月7日(月)



昨年の第32回通常総会記念コンサート後のチャリティーじゃんけんで、収益金10,000円が集まりました。それに加えて今年も使用済切手4kgを社会福祉法人の中部善意銀行に預託することができました。

使用済切手は中部善意銀行において換金され、愛知県下の社会福祉のために活かされる他、日本キリスト教海外医療協力会を通してアジアの発展途上国への医療援助、盲老人ホーム聖明園などにも活用されます。

初春の健康講座 「笑う門には福来たる」

日時／平成28年2月18日(木) 11：00～13：30 会場／名古屋クレストンホテル 講師／五尺坊 伸志氏



講師プロフィール

五尺坊 伸志氏

元 中部電力・中電興業社員

平成5年 三重県平成文化賞受賞

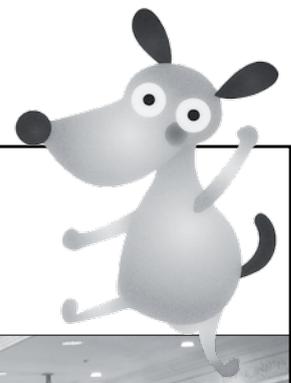
平成13年 全日本社会人落語選手権大会優勝

現在 菰野町芸術文化協会会長・三重県書道連盟参与

2月18日、名古屋クレストンホテルにて初春の健康講座が開催されました。今回は講師として「笑う門には福来たる」というテーマで、五尺坊伸志様をお迎えし、`笑う、という健康という視点から`桃太郎、`ふぐ、`夢、など、小咄をととても楽しく拝聴しました。

普段あまり馴染みのない落語に出会い、ちょっと新鮮な一日でした。美味しいお食事を頂きながら今年一年笑って健康に過ごしていきたいと節に願いました。皆様と共に……。

report／広報委員 森田 英津子



会員の相互啓発と親睦

日時／平成28年4月13日(水) 18:00～ 会場／東京第一ホテル錦 会議室



東京第一ホテル錦 会議室



30代表幹事（左）29代表幹事（右）



開会あいさつ 松原 正憲代表幹事



新代表幹事あいさつ 木村 吉伸氏



来賓 鈴木 高之副署長



来賓 石原 司郎親会副会長

「住吉の語り部となりたい」⑨

栄で競輪!! サテライト名古屋

料亭つたも主人・深田 正雄

2007年の秋、地元の中堅不動産企業社長から、街づくりについて事例見学して欲しいところが都内にあるから兎に角、上京してくれと懇願されました。訪問地も告げず、詳細は、東京でとのこと。丁度、出張ついでに新橋駅前SL広場にて待合せました。そして、立ち寄ったのは広場横の「ラ・ピスタ新橋」という会員制場外車券売場で大変明るく、楽しい雰囲気、圧倒された記憶があります。ギャンブル場外車券売場の暗い、そして、不潔なイメージが一掃された鮮明な印象でした。

某社長曰く、栄の活性化に是非、都市型競輪サロンの導入を考えて欲しい、場所も住吉に素晴らしい適切なビルがあるとのこと、また、ビックリ!!

小生の質問「どうして事前に見学場所を伝ええないのか?今、何故、課題の多い公営ギャンブルの出先を栄へ?」、返答は「場外車券売場といたら先入観で、絶対に見学にも来ないでしょう?栄の環境浄化にはこういったドラスティックな事業が必要!見れば深田さんでも判るでしょう!」

実は、同年より「栄中部を住みよくする会・会長」を拜命して、地域活性化への仕事と地域町内の協調の中心に据えられ、第一弾として「栄ミナミ音楽祭第0回」を春5月にスタートしておりました。イベントを通じて各町内相互コミュニケーションがやっと始まり、地域の問題も語り合える環境が出来つつありました。当時は、ミニバブルが崩壊して、関東関西の不動産投資ファンドやリートが住吉地区の大型ビルを取得、開発しておりました。

しかしながら、長引く不況もあり大型テナント需要は一部の違法カジノ、出会いカフェ、キャバクラなどに限られ組織暴力グループ関連の事業誘発につながる恐れがありました。

ファンドの所有する住吉町2丁目サラスクエアビルは2階にちゃんこ鍋「若」のみ入居で、町内でも不適切なテナント入居の可能性に疑心を抱いておりました。このビルに新橋などで実績を上げている(株)サテライトジャパンが場外車券所を運営をするという企画でした。

早速、新橋地区の町内を中心に地元の評判や同社の運営実態を調査し素晴らしい街づくりへの貢献に納得、当該町内会長・鬼頭釵二(故人)さんも快諾、近隣町内会のメンバーの見学などを推し進め誘致に向けて2008年7月25日東急インにて第1回住民説明会を開催し、一部の参加者から風紀の乱れを心配する意見もあり、次回は栄地区全体に呼びかけ趣旨を理解いただこうと第2回設置説明会を8月22日に設営しました。

しかし、第2回当日は説明会どころか、地域外団体のグループが150人以上が押し寄せ、“反対”鉢巻姿で会場で罵声とともに登り旗を掲げ大反対のシュプレヒコールで混乱、冷静に事業説明を聴こうとする地元住民とはかけ離れた行動となりました。十分に計画内容を検討もせず、当該地域の意見もきかず、他地区の商業者団体は「市内の中心地でこの施設は、生活環境や青少年の教育に悪影響を及ぼす恐れがある」として議論余地なく反対、騒ぎの収拾がつかなく説明会は流会となり、マスコミに大きく取り上げられたことはご存知の方も多いかと思います。

残念ながら地元意見とはかけ離れた外部からの影響の反対意見で地域は混乱、当該の住吉2丁目町内会は分裂騒動まで発展していきました。しかしながら地道な啓蒙活動、事例見学、当該関連町内の熱意で次第に近隣の理解も深まり、1年後には栄地区の合意がほぼ得られ事業伸展の目途がついてまいりま



サテライト名古屋外観(栄3-9-21)グラウンドビル東隣接。戦後は岐阜提灯問屋「平松商店」そして、立体駐車場ビルとなりました。

した。しかし、今度は新たな難問、仲介した不動産会社が経営難に陥るだけでなく、予定地のオーナーファンド運用会社・東証一部上場のパシフィックホールディングス(株)が会社更生法を2009年3月10日に申請、更生債権となる当該物件の開発がストップとなり、再建計画の承認前では住吉町での開業が困難となりました。

私たちが事業の継続を諦めかけていたころ、地域の合意形成に大奮闘した「住みよくする会」副会長の白瀧正人氏が三蔵通り・南呉服町2丁目日本リートのビル(料亭葛茂の3軒東)の活用を提案、サテライトジャパンが賃借する方向で地元誘致を継続する交渉を展開しました。2010年には建設予定地変更の合意も得られ、開業へ向けてスケジュール調整の最中に新たな難問、これまで事業者として中心であった(株)サテライトジャパンが親会社(東京港区デベロッパー)の業績不振で銀行融資がつかないとのことで事業撤退を表明、また、頓挫寸前となりました。そこで白瀧さんの調整でオーナーの(株)日本リートが運営会社(株)サテライト名古屋を設立して事業計画を承継するという事で一件落着、他団体の了解を得て関係官庁への申請を完了し、4年間の紆余曲折の後2012年4月5日無事、開業となりました。

現在は栄ミナミの人気スポットとして同施設・登録会員数13,900名、毎日数百名の来場者で賑わい地域の活性化に貢献。町内各地の清掃、警備、案内ガ

イドを配置して「歩いて楽しい栄ミナミ」にはなくてはならない存在となりました。

また、2012年3月には競輪事業に伴う地元事業交付金の授受・使用について「サテライト名古屋地元連絡協議会」が設立され、故勝田明会長(現在は多湖秀明氏)のもと栄2-3丁目17町内代表の総意で今般、安心・安全な街づくりのテーマに基づき地域に100台の防犯カメラ設置計画を推進することが決定し、2013年5月10日河村たかし市長とともに矢場公園で記念式典が開催されました。昨年度には100台設置完了し、犯罪抑止力への効果も高く、協議会では今年に追加20台の増設を予定、住みやすい街づくりへ大きな役目を担っています。さらに、社会実験として地域街路灯へのバナー広告も継続、近隣のクラス対策、大規模災害時の備蓄品設置、地元盆踊りへの協賛なども予定されています。

ここに至るまで白瀧氏を中心に多くの方々の尽力、契機となった住吉2丁目は故鬼頭会長のなみなみならぬ努力に敬意を表しつつ、今後、「栄中部を住みよくする会」多湖秀明会長のリードでサテライト名古屋の発展とともに栄地区の活性化への貢献に期待しております。

サテライト名古屋HP：<http://www.st-nagoya.com/>

文責・深田正雄(栄ミナミ地域活性化協議会会長)



1階受付Aインフォメーション



2階フロア



6階フロア